

ジャーナリストから見た秘密保護法

- 日時 2014(平成26)年3月11日(火)
午後6:10開場
午後6:30開演
- 場所 奈良県文化会館小ホール
- 講師 半田 滋 東京新聞論説兼編集委員

基本的人権と民主主義をふみにじり、国際基準からも逸脱していると批判されながら、強行採決された「秘密保護法」。弁護士会は、その廃止を求めて活動を続けています。そしてまた、秘密保護法の目的である「海外で戦争する国作り」も、国民投票すら行われないうち、実現されようとしています。そのような状況の下、安全保障問題のエキスパートである半田滋氏をお呼びし、秘密保護法の問題点と現在の憲法をめぐる状況についてお話しいただくことになりました。ぜひ、ご参加下さい。



半田 滋 (はんだしげる)氏

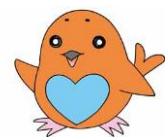
東京新聞論説兼編集委員。下野新聞社を経て、1991年中日新聞社に入社し、92年より防衛庁(現防衛省)取材を担当。93年防衛庁防衛研究所特別課程修了。

著書「『戦地派遣』変わる自衛隊」にて09年度日本ジャーナリスト会議(JCJ)賞受賞。近著に「秘密保護法は何をねらうか」「集団的自衛権のトリックと安倍改憲」。自らの経験に基づく「これが自衛隊の現場の声だ」との発言には、説得力がある。日弁連の企画での講師・パネラー等も多数。

入場無料・事前予約不要

【お問い合わせ先】
奈良市中筋町22番地の1
奈良弁護士会特定秘密保護法対策本部
(電話 0742-22-2035)
<http://www.naben.or.jp>

会場地図(奈良県文化会館小ホール)



東大寺へ
春日大社へ

奈良弁護士会
マスコットキャラクター
こまちゃん